※二講演

創価学会の現状について

骨 正 生

な動きがございましたので、そのへんを少し取りまとめて、ざっくばらんにお話をさせていただければと思いまして、 の年の大事な講演に私などでお役に立つのかとも思いましたが、五年の月日が流れる過程で、創価学会にもいろいろ と公明党の現状」というテーマで話をさせていただきました。 いただきましたが、五年前だったでしょうか、公明党の元参議院議員の福本潤一さんと二人で、この場で「創価学会 今回も現宗研の五十周年ということで、改めて「創価学会の現状について話を」というご依頼がありまして、節目 皆様、こんにちは。乙骨正生と申します。どうぞよろしくお願いしたします。ただいま髙佐主任からご紹介を

が創価学会に入信、入会をしたため、私もそのまま創価学会に入会ということになりました。 言、自己紹介をさせていただきますと、私は昭和三十年に東京の東村山市で生まれました。私が三歳のときに両親 日蓮宗関係では、何度か話をさせていただいており、お目にかかった先生方もたくさんいらっしゃると思いますが、 お邪魔させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

いろいろ見聞きしてきた創価学会の在り方に疑問を抱き、脱会しました。当時は、ちょうど日蓮正宗と創価学会の第 その後は、 創価中学に進学し、創価大学を経て社会に出たわけでございますが、大学の三年生のときに、それまで それぞれの日付は、

入仏式の方が十一月五日で、六日付の聖教新聞。

記念勤行会は八日で九日付です。

ディ などを社会に広く情報発信することができればと思いまして、 次対立の最中で、本尊模刻などの創価学会の日蓮正宗教義からの逸脱が大きな問題となっていました。その後、 アの 世界を中心に、 自分が見聞した創価学会の異常性や反社会性、 今日まで言論活動を続けております。 あるいは創価学会・公明党の政教 致の実態

り組んでおります。 現在、『フォーラム21』という、 宗教と社会を考える月刊誌を発行し、 創価学会問題を中心に、 カル ト問題等に取

る池田大作名誉会長の健康状態は、はたしてどうなっているのか、ということではないかと思います。 ばん関心がおありになるのは、 本 メディアでも、 日のテーマの あるいは政界でも、よく死亡説が流れます。私のところにも問い合わせの電話がきます。 「創価学会の現状について」ということでございますが、おそらくご参会の先生方にとって、 創価学会の、まあ、ドンですね。創価学会の会則で「永遠の指導者」と規定されてい 池 いち 田

んが死んだという情報があるが、本当か」というような。 池田さんは元気かどうか分かりませんが、生きています。 しかしいずれもガセ情報といいますか、 虚偽情報です。 事

二枚の聖教新聞の記事と写真のコピーが配布されていると思います。

昨年

注

平

成二十

Ŧi.

資料としてお手元に、

た二枚のコピーは、 町にある学会本部を建て替えて新たに総本部を建設し、 年)の十一月十八日、 その総本部・大誓堂の落慶入仏式と、 この日は創価学会の創立記念日ですが、 その中に広宣流布を誓願する大誓堂を設けました。 落慶記念勤行会の模様を報じた聖教新聞の報道記事です。 昨年の創立記念日を目指して創価学会は、 新宿区信濃 お配

だけ十数人の人がいて、千数百人規模の座席には誰も人がいないという、実に奇妙な写真です。 んで勤行をしている写真です。 枚のコピーの写真を一目見ていただければ、 ところが入仏式の写真を見ると、勤行会では満席だった会場がガラガラです。 お分かりになるように、 勤行会の写真は満堂の人びとがいて、 普通、 落慶入仏式と 壇上に

まったくいない。落慶入仏式に学会員を入れずに挙行したことが分かります。

真は、原田会長を導師に、首脳幹部らが壇上に並び、千数百人の幹部・会員が列席する中で勤行をしています。 に池田さんを中心に十数名が無観客の中、 原田会長をはさんで反対側、女性側には、まず池田夫人のかねさん。それから婦人部の首脳が並んでいます。要する 真後ろに原田稔会長、それから右に向かって正木正明理事長、長谷川重夫副理事長などと最高首脳らが並んでいます。 この入仏式の写真をよく見ていただくと、真ん中の導師席で勤行をしているのが、 壇上でお経をあげているというのが入仏式の写真です。 池田大作名誉会長ですね。

学会員はもう丸四年間、 が、その写真も先の落慶入仏式の写真同様、ごく少数の幹部と勤行している姿だとか、日付のハッキリしない夫妻で 号授与式に出て以来、大衆の前に全く姿を見せていません。年に数回、 この二枚の写真が象徴するように、池田さんは、四年前の平成二十二年五月に、中国の精華大学からの名誉学術称 ですから「永遠の指導者」すなわち絶対的存在として、 池田さんの姿を見ていないし、肉声も聞いていないのです。 聖教新聞は池田さんの「近影」を掲載します 池田さんは創価学会に君臨していますが、

どうなっているんだ」と大騒ぎになるはずです。ところが創価学会ではそうした声があがらないのです。 問題になります。 会に姿を見せないばかりか、 かに異常かは、 日蓮宗に置き換えて言えば、管長猊下が四年間も法要や各種行事に出席しなかったら、「いったい 株主総会にも出てこない、 普通の会社、例えば株式会社であったとすれば、代表取締役会長が、 社員の前にまったく姿を見せないということになったら、大 四年間 も取締役

を示した聖教新聞。 「池田名誉会長はお元気」という情報操作が組織あげて続けられているからです。先ほどコピー これは創価学会の機関紙で日刊です。 公称は五五○万部だそうで、日刊紙では発行部数第三位に

古い写真を世界のさまざまな国や都市・大学や学術機関から名誉称号が届いたというリアルタイムの記事に載せるこ なります。この聖教新聞に連日のように池田さんの写真を掲載します。もちろんリアルタイムの写真ではありません。

あたかも健在であるかのように装っているのです。

ŋ 任者だった故原島嵩元教学部長ら多くの元幹部が明言しているとおりです。 るわけではありません。 また池田さんはいまでも聖教新聞に「小説・新人間革命」を連載しているばかりか、行事や会合にメッセージを送 各種の機関紙誌にもエッセーや対談を掲載し続けています。ですから機関紙誌だけ見ていると、 日々執筆活動に勤しんでいるように思えてくるのです。もちろんそれらの著作物は池田さんが書いてい 特別書籍部などといわれる「大作の代作」グループが担当していることは、 特別書籍部 あたかも池田さ

ているのです。 います。例えば一月なら過去の一月の本部幹部会でのスピーチをというように。よく午後のテレビで再放送を流して 田さんの生の声を聞くことができません。そこで創価学会はどうしているかといえば、 と主張し、池田さんの健在をPRしています。池田さんは本部幹部会に出席しませんので、一般の幹部や活動家は池 部会などの諸会合で、「池田先生はお元気で執筆中」とか「池田先生は弟子を育てるためにあえて出席しない」など ますが、あれと同じように、 そうした機関紙誌を使っての健在アピールばかりではなく、原田会長をはじめとする最高幹部らも、 毎回、昔の映像や音声を流すことで、あたかも池田さんが健在であるかのように装 過去の池田 スピーチを流 月例の 本部幹

さんの近況について、次のように語っています。「お陰さまで八十五歳を迎え、いよいよ青年とともに進むのだと元 『文藝春秋』 げくは池田夫人のかねさん。 の平成二十五年一月号掲載の 聖教新聞では「香峯子」と表記しますが、本名はかねさん。そのかねさんも、 「激動の九十年、歴史を動かした九十人」という特集記事の中で、 月刊 池 田

気です。ラジオ体操を若い人たちと一緒にするのがいまも日課となっています」。

が、 「私は元気です。皆さんも元気で頑張って」というような、健在を示す生メッセージをリアルタイムで流せばいいの 出席しません。せめて出席しないまでも、全国衛星放送という最先端の映像技術を使用しているのですから、

にと思うのですが、過去のスピーチ映像は流しても、リアルタイムでの映像を流そうとはしません。

池田さんの健康状態の不安についての詮索はできないし、しないというのが、 会の組織内部では憚られるわけです。その結果、池田先生はお元気で活動中という建前が、組織内に貫徹しており、 こうした状況について、「おかしいなあ」と思う会員も少なくないのですが、そのことを口に出すことは、 いまの創価学会の実情です。 創価学

『文芸春秋』一月号で、 では、池田さんの健康状態は実際のところどうなのだろうか、ということですが、先ほど紹介したように、 池田夫人が「ラジオ体操」するくらい元気だと発言しました。しかしにわかには信用できま

せん。というのも、そもそもこの記事自体がアリバイ工作的に掲載されたものと見られているからです。

間 同記事には、 クープ .取り図とともに、「二箇所の脳梗塞」を発症し、「認知症が進行」しているなどと、池田さんの病状が、 池田夫人の記事が『文藝春秋』に掲載される三カ月前の一昨年十月に、『週刊文春』(十月二十七日号)が 池田大作名誉会長 池田さんが施療を受けているという創価学会本部近くの南元センターにある、重装備が施された病室の 担当していた元看護師が語る 『厳戒病室』本当の病状」と題する記事を掲載しました。 極めて深刻 「衝撃ス

学会内部から漏れてきていましたが、詳しいことは判らなかっただけに、 池田さんの病気は「脳梗塞」であるとか、「認知症」を発症しているというような断片的な情報は、しばしば創価 『週刊文春』のスクープには本当に驚かされました 病室の模様や病状、 日々の動静などを詳細

であることが詳細に書かれていました。

ところが『週刊文春』編集部は、 創価学会の激しい抗議を受けて再調査をした結果、最終的に情報提供者の元看護 人間は歳を取るのが当たり前です。

師に事実の確認ができなかったとして、 確認がとれなかったとも云われています。 記事を取り消して謝罪してしまったのです。 情報提供者が身の危険を感じて

たの ませんが、さまざまな断片的情報は、 ませんが、 とする池田夫人の記事を掲載したのです。取り消したとはいえ『週刊文春』 的措置はとりませんでした。まあ、 結局のところ、 かもしれません。そんな経緯がある中で、突然、『文藝春秋』の平成二十五年一月号が、 創価学会が提訴しなかったことからも、多くのマスコミ関係者は「バーターだろう」と見ています。 が否定する形となったのです。文藝春秋社と創価学会の間でどのようなやりとりがあ 名誉毀損での刑事告訴や民事提訴をお得意としますが、 池田さんの健康状態は、 池田さんの健康状態・病状が焦点ですから、法廷で事実審理をされることを嫌 池田さんの健康状態に問題があることを示唆しています。 創価学会が「元気」としか発表しませんので、ハッキリしたことは分かり なぜかこの が「脳梗塞」「認知症」と報じたものを、 『週刊文春』 池田さんは 記事に対しては、 ったの かは分かり 「元気」だ 法

できないのでしょう。 車椅子で移動しているとの情報もあります。 つも無表情。 年に数回程度、 感情 聖教新聞は、 のない 判断力も十分ではないと思われます。こうした点を勘案すると、 ノッペリとした顔をしています。足もかなり細くなっており、 池田夫妻の近影を掲載しますが、その写真を見ても、夫人は笑顔ですが、 おそらく人前に出て話をすることも、 リアルタイムで映像に出ることも 少なくとも私は、 とても健常とは思えません。 問題となっ 池田さんは

た『週刊文春』 の記事は、 相当程度、 真実を穿っていたのではないかと考えています。

お釈迦様の出家の動機は

「四門出遊」といわれますが、

老病死は世

一の常。

誰で

から公表して静養すればいいと思うのですが、 病気にもなるのですから、 創価学会ではそれができないのです。 仮に病気であったとしても、 恥ずかしいものでもなんでもない。

それはどうしてかというと、まず一つには、 創価学会は自らの宗教的正当性の根拠、 力用ある宗教である証拠とし

会は、

自らの信仰には功徳がある、ご利益があると大喧伝して、猛烈な折伏を展開してきました

現代宗教研究

第49号

(2015.3)

ŋ ス・魂の独立」と呼びますが、 きました。この教義上の齟齬が日蓮正宗の破門処分へとつながるのですが、 法を現代に蘇生したのは池田会長だとして、会長本仏論とか池田本仏論といわれる独自の教義と信仰形態を構築して 正宗から破門されるまで、 表できないのです。天に唾する者は自分に帰るじゃありませんが、大いなる宗教的ジレンマを抱えているのです。 にも出られないとなれば、自己否定になってしまいます。また、創価学会から造反した人や、批判者が病気になった なると、こう主張してきた創価学会の親玉である池田さんが病気になっちゃったばかりか、 もう一つは、 池田さんが会長に就任してから以降、日蓮正宗の教義である日蓮本仏論を援用する形で、 創価学会に入って信仰すれば病気も治る、貧乏から抜け出すことができる、 創価学会には池田さんしかセールス・ポイントがないということです。創価学会は、平成三年に日蓮 **罰だとして、ザマアミロとばかりに誹謗中傷してきましたから、池田さんが病気になったことを公** 宗教社会学者が内棲型宗教と呼ぶように、 破門以後は、独立した教団として、文字通り池田教への道のりを一瀉千里で歩んでき 日蓮正宗に寄生する半在家教団として歩んでき 破門、これを創価学会は あるいは家庭不和も何とか 回復せず、それこそ人前 日蓮大聖人の仏 「創価ルネサン

それだけに池田さん頼みといいますか、 引退させることも静養させることもできません。いまでも「お元気で執筆中」とせざるをえないわけです。 池田さんがいなければ教義・信仰がなりたたない状況になってしまってい 示すべきでしょう

ます。 二月十四日に、「私の闘病八十日」という手記を聖教新聞に発表して、自分は重度の肝硬変だったと明らかにして ては発表しないと思います。 自らの病気を明らかにした事実があります。戸田さんは昭和三十三年四月に亡くなりますが、それに先立つ同年 田さんの健康状態は、 もっともひどい肝硬変だったけれども、 「闘病記」を掲載しました 創価学会にとって最高機密ですから、おそらく今後とも、 しかしかつて池田さんの前の会長で、 闘病と信仰の結果、 戦後、 健康を回復したとして、 創価学会を事実上、 池田さんが病気かどうかについ 医師の詳細な診断書まで 創建した戸田

はしません 池田さんはこれだけ健康状態に疑惑をもたれているにもかかわらず、自らの健康状態についての情報を全く出そうと か、 癒と誤認して、 七年、さらに会長を続ける」と宣言したんですが、わずか二カ月後に亡くなりました。 手記 すぐに死亡というまったくの裏目だったのですが、宗教者としてはまだしも正直だったともいえます。ところが の発表に先立つ十一日には快気祝いまで行い、 信仰のご利益だとアピールしたつもりだったのでしょう。 その席上、 戸田さんは、 しかし結果的には、 「病魔に打ち勝 おそらく戸田さんは小康を快 。 つた。 病魔に打ち勝つどころ だからこれ から

信仰で乗り越えていくことが大事だと、日蓮聖人はお説きになっておられます。 実に正直です。「八風抄」ではありませんが、 身延期 価学会が尊崇の対象とする日蓮聖人を見れば、 の御遺文などを拝読すると、 「病」「はらのけ」などと、下痢で苦しんでいることも率直 人生にはさまざまな困難や苦しみが起こりますが、 先生方はご専門ですから、 私から申し上げるのも口 それを確固とした に書か 幅 n

池田さんは、 そういう日蓮聖人の姿勢、 実に不正直な人だと思います。 あるいは自分の恩師だという戸田さんが、 法華経の信仰は 「正直為本」であるべきなのですから、 死を前に闘 病記を出している事実に鑑み 正直に情報を開 n

が審理された月刊ペン裁判の判決で、 最高裁は池田さんを「公人」と認定しています。「公人」である以上、 情報を

積極的に開示すべきは当然です。

うのは一定の影響力をもつことになります。 日本の進路を左右する極めて重大な局面において、 安倍首相が記者会見するということですが、まさにこの集団的自衛権行使容認の解釈改憲問題に象徴されるように、 おりしも本目、 安倍晋三首相の私的諮問機関の安保法制懇が集団的自衛権の行使容認の答申を出したことを受けて 政権与党である公明党の創立者である池田さんの意思、発言とい

す。 というのも創価学会は、これまで自らを日本最大の平和勢力であるとアピールしてきました。公明党も「平和 公明党議員や学会員ばかりじゃありません。安倍首相をはじめとする自民党の面々や、マスコミも注目してい 公明党の議員や学会員は、 池田さんが集団的自衛権の行使について、どういう発言をするか、 注目してい 0)

党」である、

「福祉の党」であると喧伝してきた経緯があるからです。

ところが、安倍政権が集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈を打ち出し、九条の実質的な改変をはかろうとしてい だとして、「創価学会インタナショナル(SGI)の日」記念提言をはじめとする各種の平和提言を発表してきまし 対の声明を出すなどしています。ところが池田さんは、 るいま、 た。それらの提言や講演・論文などの中で、池田さんは日本国憲法の遵守、 その創価学会の「永遠の指導者」であるとともに、公明党の創立者でもある池田さんは、世界に冠たる平和指導者 池田さんは何も発言していないのです。 集団的自衛権の行使を容認するか否かについては、 肝心要のいま、なにも発言しようとしません なかでも九条の厳護を強く訴えています。 多くの教団が反

日本国憲法の平和主義や、その理念の中核である憲法九条について、池田さんは過去にどのような発言をし

う」と応じています。

ていたのか。少し紹介しましょう。

とも重要なポイントは る基本的人権、 です。この年に出された『私の人生観』という本の中で、池田さんはこういっています。「この憲法を特徴づけてい まずは昭 四十五年。 主権在民、 平和 創価学会・公明党が引き起こした言論出版妨害事件で、池田さんが反省 戦争放棄の中でも、 であり、平和憲法ということこそ、この憲法の最高に誇りうる栄冠である」。 戦争放棄は、まったく画期的な宣言といえよう。 日本国憲法の、 謝罪を表明

談集を複数の言語に翻訳して世界中で出版していますが、その中で池田さんは、こう発言しています。 その五年後の昭和五十年に、 対談集を刊行しました。 創価学会は、このトインビー・池田会談を、 池田さんはイギリスの著名な歴史学者であるアーノルド・トインビー博士と対談をし 池田さんの 「知性の証明」と自慢して、

から、 思想運動であると自覚しております」。 に心から誇りをもち、それを守り抜きたいと思うものです。そして、それを実あらしめるための戦いが、 ·私はこの立場」、ここでいう「立場」とは、「全世界の民衆の生存権を尊重する」というものです。「私はこの立 戦力の一切を放棄し『安全と生存の保持を、平和を愛する諸国民の公正と信義に託』した、 日本国 われ 憲法の精 われ

です。これに対してトインビー博士は、「もし日本がその現行憲法の第九条を破棄するとしたら ――いや、さらによ 平和憲法を守り抜き、そして平和憲法の精神を実あらしめるのが創価学会の思想運動であるとまで断言しているの 破棄せずにこれに違反するとしたら一 それは日本にとって破局的ともいうべき失敗となるでしょ

まで高めていくことであろう。 げなければならないことは、 それから四年後の昭和 **H**. 十四年には、 平和憲法を徹底して遵守するということ、それと同時に、 憲法を守ることは、国として当然のことであるが、 『創価大学平和研究』という研究誌に、「わが国 戦後の保守政権のあり方をみると、 平和憲法の精神を共有財産に の平和路線として、 第

今日の政治状況を先取りするかのような内容です。

く姿勢をとってまいりました」と、日本国憲法を守りぬく姿勢を示した上で、「要は時代の趨勢を人類共同 果たす責任の重さを痛感せざるをえません。 、向かわせることです。そのリーダーシップこそ日本がとらなければならない。従って、 昭和五十八年の「SGIの日」記念提言でも、「世界の軍事化が進行する中で、とりわけ私は、 私どもは、これまで恒久平和主義を掲げた日本国憲法を一貫して守り抜 我が国の進路は、 体的 平 -和憲法 日本の 方向

を基盤にした平和国家の道であります」と主張しています。

自公連立政権がすでに成立していた平成十三年に池田さんは、

産経新聞と毎日新聞のインタビューに応じています

使を容認しようとする議論に懸念を示しています。 制なども主張しているが」との質問に対して、「憲法や集団的自衛権をめぐる国家主義的な方向には懸念せざるを得 年九月十八日付産経新聞掲載のインタビューで、「小泉純一郎首相は憲法改正、集団的自衛権の行使容認、 が、この際、 首相公選制は議論に値することと思うが、これを憲法改正の突破口とするのは邪道だ」と、 産経新聞インタビューでは、まさにいま問題となっている集団的自衛権にも言及しています。平成十三 集団的自衛権の行 首相公選

議論は結構だ」しかし、「九条は変えてはいけない」と明言しています。 思います」と断言。「こういうふうに憲法を見なすこと自体はいいのですか」という質問に対しては、「その通りです。 同様に平成十三年九月二十五日付毎日新聞掲載のインタビューでも、「私は絶対に九条だけは変えてはいけないと

五月ですが、その直前の同年一月に出版された『池田大作名言百選』でも、「戦争放棄をうたう日本国憲法に掲げた こうした考え方は、つい最近まで変わっていません。 池田さんが大衆の前に最後に姿を見せたのは、 平成二十二年

平和 代以降表舞台から姿を消す直前の平成二十二年まで、一貫して平和憲法の遵守と九条の厳護を声高に叫 の理念と精神を、 全世界に広げることが日本の使命である」と語っています。 要するに池田さんは、 んでい 昭和 たので 四十年

す。

を無視する安倍首相の政治姿勢について、 しかも産経新聞インタビューでは、 「法華経の知恵」という書物の中で、 集団的自衛権に関連して国家主義的な政治姿勢を批判しています。 国家主義は、 立憲主義に悖る国家主義的な政治手法だとの批判がありますが 国家を神とする邪教だと厳しく批判し、 「絶対反対」との意志 (V 池田 ま、 民意 「 さん

を示しています。

策を、 とか、 るにもかかわらず、 してきたことの鼎の軽重が現実の政治的局面で問われる状況になっているわけです。 兀気で執筆中」であるにもかかわらずです。 連の発言に基づくならば、 沖縄 強力に推進しているのが安倍政権といえるでしょう。その意味では、まさに池田さん自身の政治姿勢や、 の辺野古基地建設、 池田さんは何も発言しません。 さらには靖国参拝問題など、これまで池田さんが反対し、 集団的自衛権の行使容認をめぐる解釈改憲の問題、 病気で正常な判断能力がないのであれば仕方ありませんが、 あるいはこの他にも原 しかしそうした重要な局面 批判してきた政治問 0))再稼! 題 発言 であ P お 政 働

基づけば当然の要請ともいえますが、公明党が最後まで反対するかどうかは、極めて疑わしい ふさがる憲法の番人的な役割を期待しています。 そして池田さんが創立した公明党についても、 たしかに過去の創価学会・公明党、 部のマスコミなどは、 あたかも集団的・ そして池田さんの主張 自衛権行使容認 前 言動に に立

を侵す、とても認めることはできない悪法である」と反対演説をぶちました。ところがそれからわずか半年後には のときに、 というのも、 公明党の代表代行だった浜四津敏子さんは、 いままた盗聴対象の拡大が検討されている通信傍受法、 反対集会に出席して、 いわゆる盗聴法ですね、 「盗聴法は憲法が保障する基本的 この通信傍受法導入

みました。また、盗聴法賛成のわずか二か月後には、自自公連立政権として、公明党と自民党との連立政権が成立し まったのです。では、その間に何があったかというと、公明党が求めていた地域振興券というバラマキを自民党が飲 「憲法が保障する基本的人権を侵す悪法だ」といっていたにもかかわらず、「要件が絞られたからいい」と認めてし

ということで、「もう安全」などといって、自民党と一緒になって強行採決して成立させました。 いう配慮規定をいれたことで、この配慮規定には法的拘束力が全くないのですが、「配慮する」という言葉を入れた 審議でも、公明党は当初、 じめ多くの学識経験者やマスコミ等から反対の声があがったのですが、自公両党の賛成で成立しました。この法案の 大変に問題のある法律でありまして、言論の自由を抑圧し、国民の知る権利を侵害するということで、憲法学会をは たのです。 あるいは去年、私も反対しましたが、大きな政治問題となった特定秘密保護法案の成立がありました。 慎重な姿勢を示していましたが、途中で、「国民の知る権利に資する報道に配慮する」と この法案も

権で対応できる」などと主張していますが、いつ豹変するか分からないということです。 そうした過去の経緯・実績からすると、 いま、公明党は「集団的自衛権の行使容認には問題がある」「個別的自衛

はあっても減ることはないと思われます。 を抱き始めています。どうも違っているんじゃないか、 言行不一致といいますか、こうした過去の発言と、現在の発言や行動が異なるという矛盾に、 という。そうした疑念の声や不審の声は、 多くの学会員が疑問 この先増えること

従来の姿勢を変更するということは、創価学会の宗教的正当性と正統性に重大な疑念を投げかけることにつながって お配りしたレジメにも書きましたが、この集団的自衛権の行使容認を含めた政治的に重要な問題について、

宗の信徒団体と称していた時分から創価学会内部では、 先ほど申し上げたように、 創価学会は、 日蓮正宗に寄生した半在家教団という形で存在してきたのですが、 創価学会こそが日蓮大聖人の法脈を継承した仏意仏勅 の正 日蓮正

な宗教団体であるとの主張を繰り返していました。

した。ですから創価中学の修学旅行も、 会に対する軍国主義政府による弾圧です。 いう教義を主張しています。 その際、 創価学会が宗教的正当性と正統性の大きな根拠としていたのが、 私が小学生の頃は、 法華経が流布してない間は、 鳥居をくぐっちゃいけないとか、 京都・奈良ではなく十和田湖や松島など東北旅行でした。 日蓮正宗は日蓮本仏論を教義の中心にしていますが、 神社 ・仏閣の神仏は、 柏手を打っちゃい 創価学会の前身である戦前の創 不在であるので拝んではならない けないとか、 同 1時に神 さんざんい 天上 価 われま 教育学

逮捕 たことから、 育学会も戸田城外理事長 れに対して当時の日蓮正宗宗門は、 制 戦前、 宗教弾圧がありましたが、そうした一環として、伊勢神宮の大麻、 ・投獄されることとなり、 国家神道体制下の 神宮大麻に対する不敬罪と治安維持法違反容疑で、 0) わが国では、 「通諜」 昭和十九年の十一月十八日に、 神天上法門の立場からは、本来は受け入れがたいが、 を出して受け入れるのですが、 国民精神総動員の名のもとに、 牧口会長が獄死することとなりました。 牧口常三郎会長、 当初、 神札を、 宗派合同をはじめとするさまざまな宗教統 大麻を「 各家庭に強制的に祀らせました。 「謗法」 戸田理事長以下の幹部二十一名が だとして破棄・焼却 便宜的に受け入れ、 創価 して 教

価学会だとして、 て法難を被り殉教した牧口会長こそ、宗教的な偉人であると位置づけ、 の事実を創価学会では、 宗教的 正当性の根拠に位置づけてきたのです。 軍 国主義に反対した平和勢力・創価学会の原点とするとともに、 日蓮大聖人の清浄な仏法を守り抜いたのは創 謗法厳戒の宗是を守

した。それに対して創価学会は、 さらに日蓮正宗との対立の過程で、 牧口会長が獄死してまで、 日蓮正宗宗門は、 神札を受けて謗法厳戒の宗是を破り、 謗法厳戒を守った。だからその時点で、 日蓮大聖人の仏法を汚 日蓮聖人の正

核の平和団体として、積極的に平和活動を展開しているとして、 戸田理事長は軍国主義に反対し、戦争に反対した反戦・平和の偉人であり、創価学会はその精神を継承した反戦・反 また破門に際して日蓮正宗が、 創価学会の社会的不正を指摘していることに反論する意味合いからも、 日蓮正宗との差別化を図るとともに、 創価学会の社 牧口会長

会的な意味合いでの存在意義・存在価値を強調しています。

反戦平和ではありませんの

現代宗教研究

第49号

いは安倍首相の国家主義的な施策に賛成することは、 ていました。 あるいは先ほど、特定秘密保護法に賛成したと述べましたが、その特定秘密保護法は、治安維持法の再来と批判され 公明党は賛成しています。 サマワに足を運んで派遣の道筋を開いたのは周知の事実。また、つい先日決まった武器輸出三原則の緩和においても 争を解決する手段として、軍事力を放棄するものではない 自衛隊をイラクへ派遣することが議論されていた平成十五年一月の「SGIの日」記念提言で池田さんは、「国際紛 で、成り立ちません。仮に百歩譲ってそうだったとしても、大義名分のなかったアメリカのイラク戦争に加担して、 しかしこうした創価学会の主張は、そもそも牧口・戸田両会長の逮捕 牧口さんが逮捕・投獄され獄死したのは、 そうした事実に照らせば、すでに創価学会の主張が破綻をきたしていることは明白です。 自らが主張してきた宗教的正当性や社会的存在意義の失墜、 治安維持法に原因があるのですから、これに賛成する。 (趣意)」と公言。これを受けて公明党の神崎武法代表が ・投獄の理由が、 崩

この程度ですんでいる。 それを防ぐために公明党は、 自民党だけであればもっと悪くなる」と説明。 「政権のブレーキ役」であると主張し、 「我われが政権内でブレーキを踏んでいるから 創価学会も、「公明党が政権にいるから安心」

などと主張しています。

壊に繋がりかねません

(2015.3)

での得票数を「広宣流布のバロメーター」といったのは、 始めている。 しかし公明党が「政権のブレーキ役」などとは片腹痛い限りです。そうした実態が、 その結果が、 「広宣流布のバロメーター」である選挙の得票数に現れ始めています。 秋谷栄之助五代会長です。 国民一般や学会員にも分かり 国政選挙の比例

込み。参院選も七七六万票から七六三万票、七五六万票と漸減傾向にあります。 年の参院選が七五六万票になっています。 衆院選が八〇五万票。 の小泉郵政選挙と呼ばれた衆院選。このときが八九八万票です。平成十九年の参院選が七七六万票。 国で七五六万票を獲得しています。 では、 最近の国政選挙の公明党の得票数はどうなっているかということですが、 平成二十二年の参院選が七六三万票。そして、平成二十四年の衆院選が七一一万票。そして昨 この得票数を過去の得票数の推移で比較しますと、 衆院選は八九八万票から八〇五万票、 七一一万票と二〇〇万票ちかい落ち 昨年の参議院選挙で公明党は、 一番多かったのが平成十七年 平成二十一年の 全

す。 高の八九八万票を獲得しました。しかしその後も選挙協力は続いているにもかかわらず、 は公明」と連呼している様はすでによく知られているとおりです。そういう強力な選挙協力の結果、 まで提供して、 自民党の候補は、 自公連立政権になって以来、 だいたい七○○万票ぐらいで低迷しています。これは先ほど来、 創価学会の活動力、集票力が落ちていることの証左にほかなりません。 比例区での公明党票の積み上げに協力しています。 小選挙区や選挙区で公明党すなわち創価学会の協力をもらうために、自分の選挙区の支援者の名 自民党と公明党は選挙協力を結び、 衆院小選挙区や参議院の選挙区に立候補している 選挙に際して自民党候補が、 申し上げているようなさまざまな要因が影響し 公明党の得票は 一比例は公明、 公明党は過去最 減っつ てい 比例 ま

ツ」と呼ぶのです。それに対して、熱心に活動しない会員や活動をやめた会員を「ヒカツ」と言います。 いう意味です。その「ヒカツ」が増えています。 価学会では、 活動に熱心な幹部・会員を「マルカツ」 といいます。 優良の・ 丸の 中に活動家の活を入れ 非活動家と 7 7

ル

カ

のところも少なくありません。

形になっており、平均二十世帯から三十世帯単位の地区で、毎月一回座談会を開くのですが、その座談会の結集率が 特に座談会の結集率が悪いですね。 地区の統監上の世帯数、あるいは所属会員数のよくて六十%、ほとんどが三十%から四十%程度の結集 創価学会の組織は、 小さい単位からブロック、 地区、支部、 地域の本部という

率です。それと若い人が減ってきています。

そういう現実を糊塗するために創価学会は、

先ほど、地区は二十世帯から三十世帯と紹介しましたが、

以前は四十

能だからです 十世帯の二地区を三十世帯の三地区に細分化すれば、表面的には組織が拡大しているかのように見せかけることが あるいは三十世帯でもって一地区を構成する形にして、全体のパイが下がっていることを隠す工夫をしています。五 世帯から五十世帯が標準だったのです。ところがパイが縮小していることから組織を細分化して、いまでは二十世帯

つが、 ツ」化したり、脱会してしまう可能性が高いのです。 入会していないので、確信が弱い。 両親が創価学会に入ったため、 織の維持・防衛のために、こうした見せかけの拡大の他にも、 青年部の育成・強化。特に折伏の強化です。創価学会の青年部員の多くは、いまや三世や四世です。私自身も 自動的に入れられたわけですが、そうした二世や三世、四世は、 無理やり親に信仰を強要されているケースも少なくない。 創価学会はさまざまな手を打っています。その一 だから簡単に「ヒカ 自らの意思で入信

そこで、こうしたメンバーへの指導を強化して、折伏体験を積ませています。仮に友人・知人の折伏に成功すれば、

٨

へと仕立てることができ、 新たな会員の獲得にもつながるし、入会させた新会員への責任もあることから、 簡単に脱会したり「ヒカツ」化することもない、 との判断に基づいて男子部 自覚も確信も強まり、

生部の若い会員に、

徹底的に折伏の実践を指示しています。

きよしから、 ホモセクハラ、 そうした指導の影響もあるのかもしれません。先般、 性的嫌がらせや暴力とともに、 暴力、 創価学会強要地獄」という記事が載りました。 創価学会への入会を強要されたとして、 『週刊文春』のゴールデンウイーク特集号に、「氷川きよしの これは氷川きよしの男性マネージャーが、 暴露した記事です。 氷川

てい の戸 ないでくれということなので明かせませんが、皆さんよくご存知の若手の人気女優二人とタレントです。 なタレ よしは熱心な学会員で、仏壇に池田さんと写った写真を飾って、朝晩、 の伝言があったと、 出場したあと、 手にも信教の自由はありますから、 私も記事 田記念講堂で開かれ、 の記事 ントが乗っていたそうです。 が 創 の中には の中でコメントしていますが、 価学会の芸術部幹部の岸本加世子。 学会本部に挨拶に行ったのです。そのときに池田さんから「急いで創価学会宣言しなくていい 創価学会の内部文書には書かれています。とにかく『週刊文春』 四月十九日に池田さんの会長就任記念日である五月三日を慶祝する本部幹部会が、 氷川きよしが出席したとありますが、 何を信じようと自由です。その氷川きよしが、 『週刊文春』 氷川きよしが学会員であることは、 は写真を撮っており、 その車内には、二人の有名な女優と一人のジャニーズのこれ 都内の路上で氷川きよしを拾っていった車を運転 私もその写真を見ましたが、まだ名前 一生懸命勤行をしているそうです。 創価学会では公知の事実。 平成十四年に初めて紅白歌合戦に の記事にもあるように、 東京 氷川き ょ は 巣 ح

ずれにしても、 題になりました。その背景には、 氷川きよしが、 立場の弱いマネージャーに、 創価学会が青年部に折伏を強調していることも、 パ ワハラまがいの折伏をしたということで、 影響しているのかもしれませ

455

創価学会の組織運営は、 ジを想像していただければいいのかと思います。SGI会長という地位を聖なる座にして、長男が世襲する。そして 長に就任し、宗教的に聖なる地位を継承することになると思われます。 では池田さんという組織の求心力の要を失った創価学会のポスト池田大作体制はどうなるのかということです。 成二十二年以降、大衆の前に姿を見せていない事実が示すように、いずれはXデーがくることは間違いありません。 は指揮を執るようなことを語っており、その生への執着といいますか、執念はたいへんなものですが、 の生誕八〇〇年が八年後に迫っていますが、生誕八〇〇年を目指すどころか、創価学会創立百周年の二〇三〇年まで 懸命に組織の維持、 織の構成としては、まず池田大作さんの長男である池田博正さんが、創価学会インタナショナル(SGI) 勢力の維持に腐心する創価学会ですが、すでに池田さんは八十六歳。以前、 会長を中心とした宗教テクノクラートが担当していくと、こういう体制になっていくものと 象徴天皇制における天皇と内閣というイメー 本人は、 現実には、 日 蓮聖人 の会

うち谷川さんは、 道を邁進してきた人物です。 創価大学を経て学会本部入り。 を務める谷川佳樹副会長と、 その会長についてですが、 谷川さんは東大ということで非創価大閥のトップということで、それに連なる幹部も含めて、 創価学園を卒業して東大に進学。三菱商事を経て学会本部に入った人物。正木さんは、 年齢は正木さんが五十九歳。 宗教法人の代表役員でもある正木正明理事長、 現在は原田稔さんが六代目の会長ですが、 両者とも男子部長・青年部長・東京長を歴任するなど、創価学会におけるエリート街 谷川さんが五十七歳です。 原田さんの次は、現在、学会本部 この両者が有力と見られています。 正木さんは創価大学閥 創価学園 の事務総長 両者は水

面下では激しい暗闘を繰り広げているなどともいわれています。

見られています。

度的に強めるものと思われます。

教学・大石寺教学からの脱却を主眼とする教義の整備、

本尊と本山の整備などを模索していまので、

その傾向を加

速

委員長と創価学会の間で争われた裁判の判決で、 谷川さんが優勢と言われていました。 「乱脈 経理」で暴露するなどした、 矢野攻撃の一環として行ったさながら吊るし上げのような査問での ところが谷川さんは、 矢野絢也元公明党委員長攻撃の中心的役割を果たした結 池田さんの指示で、創価学会の税務調 查妨害

発言が、脅迫に当たると認定されてしまったのです。

力を喪失させたのだと見られています。 勧告ということですが、「脅迫」の認定に慌てた創価学会が和解に持ち込み、 委員長との裁判をすべて取り下げ、 うことになります。そのためか、矢野元委員長と創価学会の間には複数の訴訟があったのですが、 仮に谷川さんが会長に昇格するとなると、 今後お互いに誹謗中傷はしないという和解に持ち込みます。 創価学会の会長は 「脅迫」という違法行為・不法行為の実行行為者とい 訴訟をなかったことにして、 形式は裁判長 創価学会は矢野元 判決 0) の効 和解

か、 他の思惑があるのか、 本来であれ 時はフィフティ・フィフティなどといわれていましたが、 ずれにしても、 独立した教団としての体制の確立を図っており、 創 価学会は宗教団体としてどのような方向に進むのか、という点については、 池田さんが後継指名をすればすむのですが、 谷川さんが優勢と見られていましたが、 ポスト池田の執行部体制についても、 日蓮正宗とヨリをもどすことはないでしょう。 先行きが不透明で混乱している状況にあります。 現在はやはり谷川さんが一歩リードしているようです。 矢野裁判の帰趨なども影響して、 池田さんに正常な判断能力がない 基本的には池 正木さんが盛り返し、 からなのか、 すでに日 田教とい あるい 正宗 ます は

田さんが生きている間はつきあうが、 ただ古参の会員の中には、 やはり日蓮正宗や大石寺への信仰や憧憬が残っています。そうした人たちの中には、 池田さんが死んだらもう自分は創価学会をやめるという人も少なくないと見ら 池

どのカリスマを持つ人物は、

創価学会内部にはいませんから。

姿を消しました。 どの機関紙誌に恒常的に掲載されていた敵対者や批判者に対する誹謗中傷は、 は竹入・矢野バッシングなどを引き起こしました。それだけに池田さんが表舞台から姿を消してからは、 ったやつは全部叩き潰せ」というような指示・命令を出しており、それが言論出版妨害事件や宮本盗聴事件、 ところで創価学会の反社会的体質は、 名誉毀損での提訴や告訴もありません。 池田さんのキャラクターに起因していました。池田さんは、「自分に刃向 池田さんがいなくなれば、 日蓮正宗に対するもの以外はほとんど 反社会的体質が少しは薄まるの 聖教新聞な さらに

から何が生まれてくるのかを、 創価学会は、 たとする原理主義的な連中が出てきて、微温的な執行部はおかしいと突き上げる可能性がないわけではありません。 もっともイスラムの過激派ではありませんが、 独善的で排他的な全体主義的カルトの要素を強くもっています。それだけに混乱と混迷そして混沌の中 私たちは注視する必要があります。 穏健派と武闘派があるように、 池田さんの教えは、 もっと過激だっ

かもしれません。

に関わる問題で無視できないのは、 動に違法性や不法性、 もとより創価学会が、宗教活動をすることは あるいは反社会的行為があれば、 やはり政教分離の問題です。 「信教の自由」によって保障されています。したがって、仮に宗教活 厳しく糾弾し、 断罪すればいいだけです。しかし、創価学会

た平和の旗印さえ放擲するのですからひどい話ですが、そうした公明党のマキャベリスティックな言動により、 民・市民の利益や国益よりも創価学会益・池田益を優先します。創価学会と池田さんを守るために、 公明党が連立政権に参画してすでに十数年の月日が流れました。矢野元公明党委員長が著書「乱脈経理」で明かし 公明党が創価学会と池田さんを守るために、 国税庁の税務調査を妨害した事実に象徴されるように、公明党は国 金看板としてい 日本

るのです。

政治は大きく紊乱されてきました。

参拝 間違いありません 柄 自衛権の行使にも理解を示していますし、この国の形を、それこそ戦後レジームから脱却して、日本を天皇中 安倍政権 ;や国家護持を実現したいとも思っている。それだけに創価学会や公明党と組むことに忸怩たる思いがあることは 国体に戻したいというような考えがあるわけです。だから改憲もしたいし、靖国神社への天皇や総理大臣の公式 の関係者や、 安倍政権を支える勢力、 例えば日本会議に連なるような人たちと話をすると、 彼らは 心の 集団 玉

るいは社会的不正を積み重ねてきているため、宗教法人としての適格性を問題にされるというアキレス腱を抱えてい ならないはずです。 と組まざるをえない。魚心に水心ではありませんが、両者はともに妥協し利用しあっているのです。 市長率いる維新の会と連携して、多数派を形成したいという思惑も見え隠れしますが、 公明党・創価学会と手を組み、 挙協力をし、 創価学会や公明党は、 かし、 創価学会・公明党と手を切ることができません。 創価学会票をもらわなければ勝てない、あるいは参院のキャスティング・ボートに象徴されるように、 しかしそうなると矢野元委員長が明らかにしているような、さまざまな違法行為や不法行為、 先ほど紹介したような従来の政治的主張に基づけば、 票や議決で協力を得なければならないという現実があるからです。 なぜかといえば、 安倍政権とは徹底的 全国の小選挙区や参議院の 現在の政治的現実は、 最近は、橋下大阪 に対峙 地方区で選 しなけ 公明党 ń あ ば

クへの自衛隊派遣も、 田さんの国会証人喚問要求や宗教法人法の改正で揺さぶりました。ですから創価学会は、 っても、 ご承知のように自民党は、 安倍政権を敵にすることはできない。むしろなあなあでやっていた方が都合がいいのです。 普天間基地の辺野古への移設も、 創価学会・公明党が、非自民連立政権に参画した際、 武器輸出三原則の緩和も、 徹底的に創価学会攻撃を行 原発の再稼働も、 どんなに政治的 そして盗聴法も その結果、 主張 が異 イラ

なな 池

だろうと思われます。

るという日本の政治の現実を憂慮し、政治と宗教の関係におけるマイナス要因を払拭したいと考える人は少なくな 創価学会と池田さんの既得権を守るための公明党の動きによって、 しかし利害と打算の伴う現実政治の前に、 批判の声は押し潰され、自公政権はいまでも続いているとい 日本の政治が混乱し、国民益や国益が阻害され

うのが偽らざる日本の政治の現実です。

求と乖離を来たしていると指摘。宗教団体の政治進出は、 してきたが、与党化した昨今の公明党の政策や政治姿勢、 十二年に書きました。そしてその中で、創価学会は民衆宗教として政治に進出・関与し、民衆の政治的要求を具現化 れると思いますが、その中野さんが「民衆宗教としての創価学会(社会層と国家との関係から」という論文を平成二 の宗教学者・宗教社会学者対策の中心的な人物です。立正大学がありますので日蓮宗の関係者でもご存知の方がおら ただレジメにもお示ししたように、創価大学教授に中野毅さんという宗教社会学者がいます。この人は、 限界に来ているのかもしれないと論評しています。 創価学会幹部の政治意識は、 般の学会員の政治意識や要 創価学会

は、 創価学会や公明党の首脳は、 部上場企業と同等の所得水準にある学会本部職員と、 その要求と意識の乖離は甚だしいものがあります。 組織維持と既得権維持のために変節してはばからない。ましてや経済政策についても、 厳しい経済環境下にある一般あるいは末端の学会員との間に

集団的自衛権の行使容認問題に象徴される平和の問題にしても、多くの会員が疑問をもっているにもかかわらず、

あるいは宗教団体が求める平和とか人権をベースとした政治とは異質な、甚だしくは正反対の政治決定にも与しなけ 野教授の現状分析と総括に示唆されるように、公明党が政権与党に入っていることで、権力闘争にまきこまれる、

いうような意見もないわけではありません。しかしそうした立場と、 ればならなくなることから、 創価学会内部にも矢野元委員長が主張する衆院撤退論を検討する必要があるのでは、 現在の政治路線を維持しようとする立場は相

れません。それがまた組織的対立や混乱を招く要因となっています。

0 創価学会は、 はしょって話をしてきましたので散漫な内容になってしまい恐縮ですが、 組織の求心力も活動力も大幅に低下しており、 ポスト池田体制に向けて極めて不安定な状況に陥って 結局、さまざまな要因に基づいて、 現在

年。 かったと指摘できると思います。 ったことが、オウム真理党や幸福実現党の登場を招いたという点でも、 日本における政治と宗教の関係を考えても、 ります。王仏冥合・国立戒壇の建立を掲げて政界に進出した創価学会が、 ちょうど現宗研 結局、その歩みは、 の創立 日本の政治を混乱させる役割を果たしただけだったと酷評しても差し支えないと思います。 五十周年ということでお邪魔をさせていただきましたが、今年は公明党の結党五十年でもあ 創価学会・公明党の政教一致の実態を放置し、徹底した批判を加えなか 創価学会の政治進出は、 政権奪取を目指して公明党を結党して五十 悪しき前例に過ぎな

治にかかわる本質的な問題と認識するのではなく、単なる政局・権力闘争の手段として利用しようという人が大半だ ざまな局面でお付き合いをしてきました。しかし日本の政治家は「理念も哲学もない政治屋だ」などと揶揄されます こうした政治状況を変えていく必要を、 創価学会問題に取り組んだ政治家の多くは、 私は痛感しています。そのためにこれまでも多くの国会議員の方々とさま 自己保身のために豹変していきました。 創価学会問題を、

会問題についての勉強会などを行っており、そうした勉強会に出席していました。その時分に安倍さん本人から直接 例えば安倍首相にしても、 平成五年頃は、 自民党内に「憲法二十条を考える会」などが設けられ、 さかんに創価学

たというのです。安倍さんは、「本当に危険な団体だ」と嫌悪感を露わしていました。

闘ったのは、 期 されていいものなのでしょうか 調整するものであり、 た。 く立場になったことは、 の祖父の岸信介も、父の安倍晋太郎も御党と交友関係の深い間柄でもあった。両党が五十年の歴史を経て、今、第二 の連立政権時代を迎えるに当たって私が自由民主党の総裁として、そして連立内閣の首班として、 しかし安倍さんは、今日では自公政権の首班です。 創価学会を批判する議員が出ないようにするためのいわば見せしめです。民主主義とは多様な意見を尊重しつつ 白川勝彦代議士だけでしたが、創価学会は白川さんをパージするために組織あげての攻撃を仕掛けまし 自らの意見と対立する政治家をパージすることは全体主義に他なりません。こうしたことが許 何か特別な運命を感じている」とまで発言しています。結局、 首相に就任した直後の平成十八年九月の公明党大会では、 自公連立に反対して最後まで 連立を率いて

現代宗教研究

第49号

(2015.3)

は、 や認識が希薄化してしまい、 政界やマスコミ界のみならず、 0 印刷などで、 日本には、 外交問題にも関わることからマスコミも取り上げます。 靖国問題と創価学会問題という二つの政教分離に関する大問題があります。このうち靖国問 日本の大手メディアはのきなみ金縛りになっていますから取り上げることがありません。 自公政権を是認する空気が広がっています。 社会一般にも、 創価学会・公明党の政教一致や、公明党の政権参画を問題視する意識 ところが創価学会問題は、広告やCM の出稿、 その結果、 題に 機 **| 関紙誌** ついて

公明党と自民党が連立を組んだら、 創価学会・公明党の激しい言論出版妨害を受けた「創価学会を斬る」の中で、著者の藤原弘達さんは、 全体主義となり日本の議会制民主主義はアウトになる、 と書いていますが、 創価学会 いま

が日蓮聖人のイメージや教えを歪めていることです。

こうした政治的側面ばかりではなく、

宗教的側面においても、

れるケースが多いですが、むしろこの国の将来を誤らせないために、 基づいて、 がりますが、 まさしくそういう政治状況になってきている。 こうした政治状況の中で、 特に日蓮門下の皆さんには、それこそ日蓮聖人がお示しになった「立正安国論」の教え、立正安国のご精神に 現今の政治状況と向き合っていただきたいと思います。 宗教者の皆さんはなにをすべきか、それぞれが自らの宗教的理念に基づいてお考えいただきたいと思 日本の民主主義を守るために、それは基本的人権である信教の自由を守ることにもつな 私はこうした政治状況はたいへんに危険だと思っています。 いま、 政治を厳しく監視し、宗教的理念から政治家を 宗教界や宗教者は、 政党や政治家に利用さ

関心を装う人が少なからずいるということです。 み込むと、その実、 や公明党を批判する宗教者、 が、その中で時に感じるのは、 さまざまな機会に宗教者の皆さんに取材をさせていただいたり、 現状を追認するといいますか、 あるいは自公政権に危機感や憂慮を抱いている宗教者は多勢おられます。 無力感ないしは諦観、そして「創価学会傘論」ともいえるご都合主義です。 創価学会・公明党の存在を、 意見を交換させていだいてい また公明党の政権参画を是認し、 しかし一歩踏 るのです 創価学会

指導していただきたいと思います。

え方が、宗教団体や宗教者の中に存在します。宗教者にとって必要な政治的主張や要求は、 彼らが傘になっていれば宗教法人は安泰だという、 じめとする宗教法人の既得権に手をつけられることはない、 べきであり、 それはなぜかというと、 こうした 「創価学会傘論」 公明党が政権に参画し、 ともいうべき考え方は、ぜひとも改めてほしいと、 いわば「アメリカの傘論」ならぬ 創価学会が一定の政治的影響力を発揮していれば、 との思いがあるからです。 「創価学会傘論」ともいえる考 創価学会・公明党は嫌 私は思っています。 自らの責任において行う 優遇税制をは

創価学会

先ほど日蓮聖人のご生誕八○○年が八年後に迫っていると申し

特に日蓮聖人の門下にとって問題なのは、

蓮聖人の信仰、 日蓮門下は創価学会流の日蓮解釈に基づく教義・信仰、あるいは日蓮認識とは異なる、 日蓮認識を、声を大にして広く社会に訴え、生誕八○○年のご報恩にかえていただきたいと念願する 日蓮聖人の教え、

ましたが、別に時期を区切るわけではありませが、創価学会が「成住壊空」でいえば「壊」の段階に入ったいまこそ、

ものです。そうした「時」が、いま来ているのではないかと思います。

う問題も、今後の課題として考えるべき必要があるのではないでしょうか。 られます。そうした人びとに対して、宗教者として、あるいは日蓮門下としてどう手を差し伸べるべきなのか、とい 否定しています。その結果、日蓮正宗に行くのも嫌だという宗教難民のような人びとも、相当数、出てくるとも考え が数多く出てくる可能性があるとも申しました。そうした人びとは、もともと日蓮正宗で受戒して入信していますか 先ほど、創価学会が混乱していると申しました。池田さんが亡くなれば混乱に拍車がかかり、創価学会をやめる人 多くは日蓮正宗に戻るかもしれません。しかし、創価学会は日蓮正宗を激しく誹謗中傷し、その宗教的正当性を

現代宗教研究

つ散漫な内容となってしまい、恐縮ですが、とりあえず創価学会の現状ということで、参考にしていただければ幸甚 以上、一時間という時間を頂戴し、ちょっと過ぎてしまいましたが、駆け足で話をさせていただきました。雑駁か

司会 はい。ありがとうございました。

もう少し時間を取っておくべきだったなと、やっぱり反省をしているところで。

です。ありがとうございました。

せっかくの機会でございますんで、あまり時間はございませんが、ご質問を受けたいと思いますが。 何か

というようなことがございましたら。よろしゅうございます?(あ、はい、手が挙がったようでございます。はい。

います。 と思うんですけども、そのへん、どういうふうな状態なのか。 それが特定の人物であるのか、 内での新たな課題、 発であったり戦争の自衛権であったりとか、そういった問題、 多分中でもほとんど発言っていうのはないんだろうというふうになると、その場合ですね、 はい、 ハード争いがある、によって揺らぎが、意思決定の方向性が揺らいでくるというふうなことが出てくるんだ すいません。 問題出てきたときに、どういうふうな人たちが、人が中心になって、つまり意思決定者ですね、 お話の中で、 それとも集団的体制でやっているのか。それによって、 池田先生が四年前から体調不良っていうかな、で、表舞台に一切出てこな また、 政治的な問題もありますし、あと、 今後の見通しなんかも教えていただければと思 例えば集団的体制であれば、 宗教的 今回の、 な創価学会 例えば原

乙骨 回していくという形を取っておりました。 ざまな案件について討議し、 題については、 創価学会の最終意思決定者は、もちろん池田大作名誉会長です。 会長、 理事長以下、 なかなかお分かりにはならないわけです。 一定の結論を得ると池田さんに報告。「了承、よきに計らえ」と決済がおりると実務に 中枢の副会長や各部の部長など二十数名で構成されています。 結局、創価学会の執行部に、常任中央会議という機 池田さんですけれども、 この常任中央会議でさま 従来から専門的 があ な問

これまで同様、 れてきますが、 を得ているのでしょうが。 ておろしているようです。 ところが現在は、 ポスト池田体制の主導権争いといいますか、水面下での権力闘争も熾烈になっているともいわれてお 常任中央会議で討議し、最終的に決まったことを池田さんの了承を得たということで、 池田さんが不在ですので、 もちろん、第一庶務という池田さんの秘書グループを通して、 創価学会内部からは、 その最終意思決定ができないことから、 池田さんが亡くなるまでは、 、この集団指導体制でいくとの情報が漏 集団指導体制とい 池田夫人や子息などの了 決定事項とし

質問者ありがとうございました。

司 会 題が、実は突きつけられてるということなんだなというのを、改めて認識をさせていただいたというようなことにも しろ、そういうことをしていれば、「していれば」って言いますかね、われわれが果たさなければならない大きな課 ので、日蓮門下の課題という形で三項目、提出を頂きましたが、創価学会を見ている、批判しているだけではないに うようなことを、池田大作さんの病状のようなところからお話を頂いたわけですが。最後に「まとめとして」という 話を締めさせていただきたいと思います。「創価学会の現状について」ということで、現在の創価学会の有り様とい はい。もう少し伺いたいところなんでございますけど、この後の予定もございますので、これで乙骨先生のお

どうも乙骨先生、大変ありがとうございました。

ございました。

乙骨 どうも失礼します。

司会お疲れさまでございました。

※講演者追記・平成二十六年度の現代宗教研究所センター連絡会議での講演に、 正確を期すために加筆・補正を施し

います。 都新宿区信濃町にある創価学会総本部・大誓堂を信仰の中心道場にすると発表。独立教団としての体制整備を進めて 学会」であると宣言したことを明記。 宣言。平成二十七年十一月には、再び会則を変更し、 学会も同調しました。また平成二十六年十一月に創価学会は会則の教義条項を変更し、 ある「戒壇本尊 講演中にある集団的自衛権の行使を容認する閣議決定と、 なお、 同時に、 (弘安二年の御本尊)」への信仰を破棄し、 原 田会長の再任 牧口 (三期目)と、 戸田 ・池田 池田大作名誉会長が、創価学会の「本地」は 谷川副会長の主任副会長への昇格。 0) 「三代会長」を「永遠の師匠」として祀るとともに、 創価会が礼拝する本尊は独立教団として自ら選定すると それに基づく安全保障関連法案に公明党は賛成し、 日蓮正宗の総本山・大石寺に 正木理事長の退任 「日蓮世界宗創 降格 東京 創 価

人事が発表されました。